

13
1961
121

121





前編

武者修

行木齋

傳

下

121 六册合
遠
1961
106

1961
121

内封
割力



富も遊べの飽くれあり
 范丹が貧窮の樂めは倦ること
 著るは遊びに滑稽不飽今亦著述に樂む
 筆研小倦ど洒落もこころや困憊彼徒然のころふと
 踊出するをうきも脱履果ををうきも今茲
 篇この春戲作者の戲の字は二子お授る日嗚呼がまゝ
 一とくも了。俳諧未來記の幾句は只ひしせしむ。
 草菴ふ百の作書あり門人の魁蕾子琴我子
 とくも了り。

冊

二

西のよみ花乃さくくや
 草冊子
 東都 曲亭馬琴



文化二乙丑年夏四月下旬著述同三年丙寅春正月發行



次はかく庵あつて
このはまきくハ村と
しきらんふん海
ぞとてんてんてん
あつ山氏をうのすのまん
をまりのいらん小いり
女をまりのいらん小いり
てかおをり
たてけいふけり
るるるるるるる
りりりりりりり
まらりりりりり
うてりりりりり
めんともりりり
うりのりりりり
まらりりりりり
らりりりりりり
ちりりりりりり
かきりりりりり
うめりりりりり
おんごんひんれりり
ちりりりりりり

いん
いん





四天王割血異録 全十冊
 京傳作
 接ひぬわけ平比治五冊
 漢林足軍談後編同
 いつまゆえ入
 よまか出扱



〇五

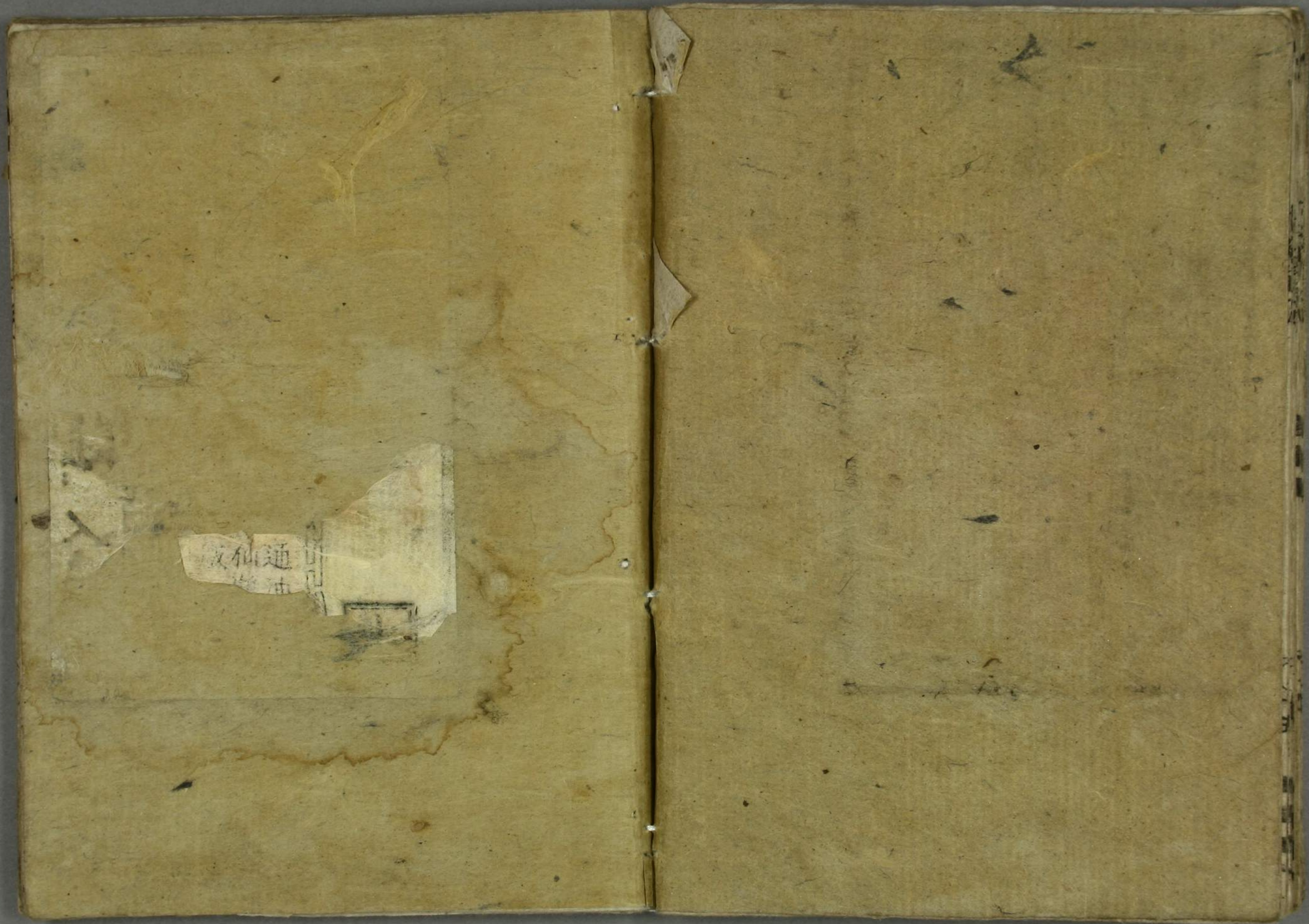
〇五

〇四
 〇五
 〇六
 〇七
 〇八
 〇九
 一〇
 一一
 一二
 一三
 一四
 一五
 一六
 一七
 一八
 一九
 二〇
 二一
 二二
 二三
 二四
 二五
 二六
 二七
 二八
 二九
 三〇
 三一
 三二
 三三
 三四
 三五
 三六
 三七
 三八
 三九
 四〇
 四一
 四二
 四三
 四四
 四五
 四六
 四七
 四八
 四九
 五〇
 五一
 五二
 五三
 五四
 五五
 五六
 五七
 五八
 五九
 六〇
 六一
 六二
 六三
 六四
 六五
 六六
 六七
 六八
 六九
 七〇
 七一
 七二
 七三
 七四
 七五
 七六
 七七
 七八
 七九
 八〇
 八一
 八二
 八三
 八四
 八五
 八六
 八七
 八八
 八九
 九〇
 九一
 九二
 九三
 九四
 九五
 九六
 九七
 九八
 九九
 一〇〇



〇五

〇五



通仙液
油





須藤木齋肖像

曲亭馬琴作
門人嶺松真上授



ものふ乃

牛島晴

刀魚も

抄さすかあも

さう

かろく

文化乙丑夏孟

篁簾老渙謹篋



一柳齋曲亭馬琴画

須藤木齋

十五

